

あぶたん つうしん 113号

風水害の危険度が高まるこれからの季節、**万が一!**の事態に備えて――

平成24年度 すい ぼう ぎ じゆつ こう しゆう かい

水防技術講習会が 開催されました。

6/24(日)
9:00~12:00

先月24日、阿武隈大堰付近の河川敷で、平成24年度の「水防技術講習会」が実施されました。

阿武隈川下流と名取川の水防活動に携わる水防管理団体・消防本部・関係機関の方々など合計138名が参加して、さまざまな水防工法の訓練を行いました。

台風や大雨など本格的な出水期を迎え、いざという時に万全を期して対処できるよう、水防活動の基本となる「土のう作り」や「縄結び」をはじめ、堤防の崩れや水漏れを防ぐ「せき板工法」「月の輪工法」「木流し工法」など、実践的な工法の習熟に励みました。



土のう作り

水防活動に欠かすことの出来ない「土のう」。土のうは袋に土砂を詰めるだけのシンプルな資材ですが、浸水を防いだり、逆に水を貯めたり、重石の代わりに使ったり、さまざまな使い方ができます。土のう袋にスコップで土を詰めて、口をしっかり縛ったら出来上がり!



せき板工法



完成!!

杭で固定した板と板の間に、土のうや土を押し込んで、水が堤防を越えそうな時にくい止める工法。



縄結び



こちらも水防活動の基本となる「縄結び」の訓練。ほどけないように、しっかり結びます。

月の輪工法



▼前から見ると、こんな感じです。



川の水が堤防基盤を通って堤防の裏側に漏れ出しているような箇所に、土のうを半円状に積み上げてプールを作ります。こうすることによって、川の水位と漏れ出した箇所の水位を近づけて水の圧力を弱め、漏水の拡大を防ぐ工法です。

昨年の台風15号被害など、近年、想定を超える集中豪雨が全国各地で多発しています。有事の際、迅速な対応で水害を防ぎ、また被害を軽減する「水防活動」は重要な役割を担っています。水防工法は、水害の際に現地調達しやすい身近な物が材料になっていて、いつでも取り出せるように水防倉庫にも備蓄してあります。

今回参加された方々だけではなく、「水防」は私たち一人一人の身近な備えです。明日起こるかもしれない災害に備え、みなさんも水害時の行動について、考えてみてくださいね。

今月は河川愛護月間です

国土交通省では、毎年7月を「河川愛護月間」と定め、全国で河川愛護活動が実施されています。この一環として、今年も川への思いの詰まった「絵手紙」を募集しています。ご興味のある方、詳しくは「絵手紙募集」のアドレスを検索してみてくださいね!

<http://www.mlit.go.jp/river/aigo/index.html>

